

<文献紹介>地形分類図の読み方・作り方

KODERA, Koji / 小寺, 浩二

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政地理 / JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY

(巻 / Volume)

29

(開始ページ / Start Page)

60

(終了ページ / End Page)

60

(発行年 / Year)

1999-03-13

【文献紹介】

地形分類図の読み方・作り方

大矢雅彦ほか (1998) : 古今書院 B5判 118 ページ 3000 円

本書は、日本における地形分類の第一人者である大矢雅彦早稲田大学名誉教授が監修し、自らの水害地形分類図作成の長年の経験をふまえ、門下生を中心に作成された様々なタイプの地形分類図の事例とともに、地形分類図作成の方法をわかりやすく示した地形分類に関する入門書である。

B5判 118 ページの手頃な大きさ・分量で、表紙にはヨーロッパ国際地形分類図の一部を用い、多色刷りのカラフルな図や写真をふんだんに用いた愛着のわく 1 冊である。2 部で構成されており、第 1 部で各種の地形分類図を示し、第 2 部では作り方を記している。

第 1 部は 11 章からなり、様々な種類の地形分類図が、各章 4 (11 章は 7) ページで、バランスよく紹介されている。美しいカラーの地形分類図や写真・衛星画像などが多用され、ばらばらとめくってみただけでも、地形分類図に対する興味をそそるような、すばらしい編集がなされている。

内容は、水害地形分類図第 1 号の木曾川下流濃尾平野水害地形分類図 (大矢, 1956) から、湖沼環境図・水域環境地形分類図・火山土地条件図・水文地形分類図など多岐にわたる。対象地域も、国内だけでなく、東南アジア、中国、バングラデシュ、西アジアと変化に富んでいる。また、空中写真の判読だけでなく、衛星画像や GIS 技術の応用についても紹介されている。

各章は、それぞれ 3 節で構成され、わかりやすくまとめられている。第 1 節では、各地形分類図の目的と必要性の背景や、著者の意図などが示されている。第 2 節では、凡例が説明されているが、基礎的な部分だけでなく、目的に応じた変更や追加に関する記述は、同様の地形分類図を作成しようとする読者に対して大変参考になるものである。第 3 節では、地形分類図の読み方が示してある。地形要素ごとの規模形状の判読、それらが組み合わせさせた特色の読みとり、成因に関する解釈、自然環境や水防・利水などとの関係把握の仕方などについて、各著者の豊富な経験と過去の研究成果をふまえて記述されている。地形分類図は、それ自体が多くの研究成果の集積でありなが

ら、将来の様々な研究への基礎資料となり得るものであることが、各著者それぞれの言葉で表現されており、興味深い。

一方、第 2 部は 6 章で構成されている。地形分類の方法・空中写真の基礎知識・作成の手ほどきと続く前半 3 章では、地形分類図作成に必要な基礎的知識について解説されている。そして、後の 3 章で、具体的事例をもとに、どのように空中写真を判読し、現地調査した上で地形分類図を作成するかが示されている。また、ハザードマップの作り方や、地形分類図から過去の環境や歴史を見する方法についても紹介されている。

著者らは、今までにも地形分類の手法を用いた研究の成果を論文や書物の形で多く残してきたが、本書に似た内容のものとしては、大矢雅彦編 (1983) : 『地形分類の手法と展開』がある。本書は、その改訂版とも位置づけられるものであるが、編集方針が異なっているため、趣を大きく異にする書物となっている。「まえがき」でも述べられているように、大学生が卒論やレポートで地形分類を行うことを想定しており、大学の授業でのテキストとしての役割も考えて編集されているようである。従って、地形分類図の理論や作り方からは始めず、インパクトの強い美しい地形分類図を示した上で、その目的や読み方などを解説し、地形分類図に対する興味を呼び起こすような構成がとられている。見方を変えると、第 1 部は興味のあるどこの章から読んでもいいように構成されており、後半も、地形分類図の作成法だけでなく、関係する資料がわかりやすくまとめられているため、地形分類図に関しては、本書 1 冊で大概のことが分かるようになっており、手にした瞬間から効率よく自分のペースで学んでいくことができる、読者の側にたった編集がなされている。

地形分類に興味がある人だけでなく、地理学を学ぶ人には、ぜひ手にしていただきたい本である。また、大学で教鞭をとるものとしても、様々な点で学ぶことが多い 1 冊である。

小寺浩二 (法政大学地理学教室)